

第20回
新潟大学
農学部
フォーラム

里地・里山の食料生産と環境をまもる

人と自然の キヤッチボール

これまで人は自然に働きかけ、時には自然に負荷をかけて命をつないできました。しかし、地球規模の気象変動や自然環境の劣化が、これまでの人と自然の関係を改めるようにシグナルを発しています。本フォーラムは、里地・里山の環境を俯瞰し、人と自然の持続的な付き合い方を考えます。

日時

2014年12月13日(土)

入場無料

申込不要

会場

新潟大学 中央図書館 ライブラリーホール

オープニング

13:00~13:05 開会挨拶 農学部長 新村末雄

13:05~13:15 趣旨説明 生産環境科学科長 中野和弘

問題提起

13:20~13:40 豪雪中山間地の不利を逆手に
取った養鯉業の発展

坂田寧代

13:40~14:00 50年後に石油がなくなる！
—再生可能エネルギーの農業利用—
大橋慎太郎

14:00~14:20 中山間地の鳥獣害を防ぐ
—野生動物管理の最前線—

望月翔太

14:20~14:40 中山間地で激増する土砂災害

権田 豊

パネルディスカッション

15:00~15:50 コーディネーター 箕口秀夫

15:55~16:00 閉会挨拶 副農学部長 川邊 洋

お問い合わせ

新潟大学農学部 農学部フォーラム実行委員会

TEL 025-262-6603 FAX 025-262-6854

E-mail info@agr.niigata-u.ac.jp